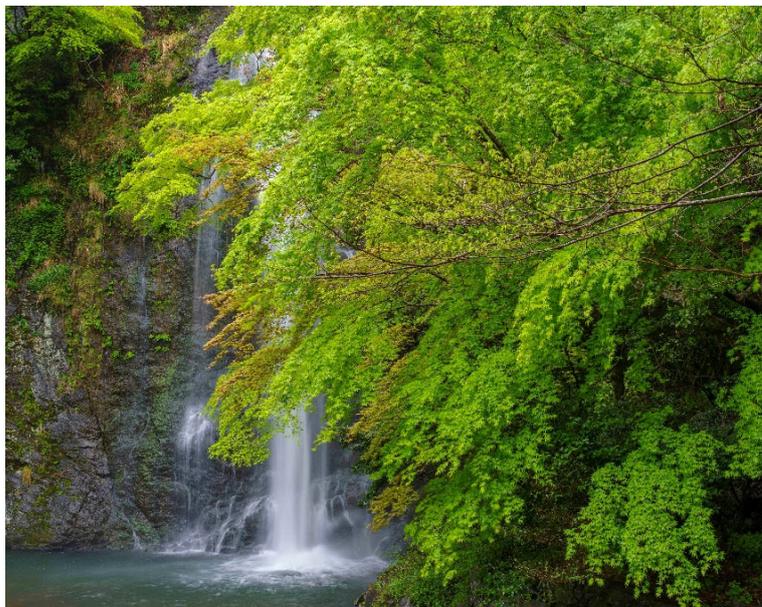


## 私たちのくらしや命を守る、森林が持ついろいろな働き



市街地の近くに急峻な地形を有することから、箕面は昔から自然災害に悩まされてきました。1967年(昭和42年)、北摂地域を襲った集中豪雨により、大小の河川が氾濫し、大きな被害を受け、1982年(昭和57年)に治水対策のために箕面川ダムが完成しました。

また、近年、台風によるスギ・ヒノキ林の大規模な風倒木の発生や滝道石子詰斜面の崩落による長期間の通行止めが発生したことは記憶に新しいことです。

気候変動の影響により、再び自然災害が発生する恐れがあり、前もって備えておく必要があるでしょう。

防災、減災のためには、ダムのような人工施設だけでなく、健全な森林が持つ土砂の流出や山崩れの防止の機能を取り戻して、うまく組み合わせることで補いあうことが有効な対策として期待されています。

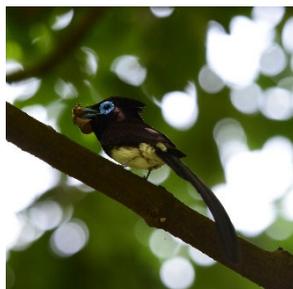
増えすぎたシカから森をどう守るかなど、難しい課題がありますが、市民が何ができるのか、行政として何が必要なのか、できることを一緒に考えたいと思います。

## 箕面の森では、たくさんの野鳥たちが子育てをしています。

木々が芽吹き、野鳥たちがさえずり、新緑を食べる虫たちが活動をはじめると、箕面の森は、とても賑やかになります。南方からキビタキやオオルリ、サンコウチョウ、センダイムシクイ、ホトギスなどが飛来し、多くの野鳥が子育てをします。葉っぱを虫たちが食べ、虫を鳥たちが食べる、鳥たちは木の実を食べて植物の種子散布の手助けをする。食う、食われるという複雑な関係の中で成り立っている豊かな生態系は、私たちの生活に安心・安全の恵みを与えてくれます。



キビタキ



サンコウチョウ



センダイムシクイ



ホトギス



シジュウカラ



オオルリ



メジロ



コゲラ



キセキレイ



ヤマガラ

野鳥たちの子育ての季節。巣立ったヒナたちは、しばらくの間、親鳥といっしょに行動しながら飛び方やエサのとり方を身につけていきます。地面に降りているヒナを見つけると手を差しのべたくりますが、親鳥が近くにいることがあります。その場を離れて、そっと見守ってあげてください。ヒナを拾わないことが子育ての応援につながります。

## みのお山とみどりのフェスティバル「生物多様性研究フォーラム」を開催しました。

近年、外来生物が箕面の生物多様性や生態系に悪い影響を与える恐れがあることから、外来生物についての理解を深めて、箕面の森での生物多様性の保全の取り組みを考えるために、生物多様性研究フォーラム「箕面の外来生物と生物多様性」をオンライン方式で、2月11日(祝)に開催しました。

箕面の関係者の他、全国の研究者や行政機関、関係団体、環境系企業の皆さまなど、生物多様性の保全に関心を持つ多くの方にご参加いただきました。当日、参加出来なかった方や再度ご確認されたい方は、[ホームページ山なみネット／トピクス](#)に概要を公開していますので、[PDF当日資料](#)をご参照ください。



### 【基調講演】

大阪府立大学名誉教授・(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所 理事長 石井 実氏

箕面・北摂の自然、里地里山ホットスポット、シカと外来生物のリスク、外来生物問題と対応などの話題を提供していただきました。また、侵略的外来種の早期発見、侵入初期の緊急防除対応(予算確保を含む)などの**初期対応が重要**であり、市民や専門家、行政と**連携した対策**を実施することが外来種対策を成功させるパターンであるとの提言をいただきました

### 【報告】

○(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所 生物多様性センター 幸田良介氏から「大阪・箕面の生物多様性を脅かす外来生物の現状」について  
○株式会社バイオーム 代表取締役 藤木 庄五郎氏から「市民参加型の生物多様性モニタリングの現在と展望」について、生物多様性を楽しみながら調査ができるいきものコレクションアプリ「Biome(バイオーム)」を開発しており、**市民による投稿が特定外来種の早期発見(アラート)につながる**ケースがあるとの報告をいただきました。

○林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター 中田茂巳氏から「エキスポ90みのお記念の森での生物多様性保全に向けての取組」についての報告を受けました。

★報告の後、ディスカッションを行い、最後のまとめとして、石井実氏から、まずは市民が目目の外来生物を認識することが重要であること、そして市民と連携した監視を行い、**かつては日本三大昆虫の生息地と呼ばれた生物多様性のホットスポットである箕面の森の保全に今後も取り組んでほしい**との呼び掛けをいただきました。



共催団体である(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所の生物多様性センターからオンラインで開催しました。

## 彩都粟生南地区に繁茂している特定外来生物「ナルトサワギク」を除去しました。



冬でも花を咲かせるナルトサワギク

ナルトサワギクは、年中開花し種子散布を行うために、非常に繁殖力が強く、生態系に影響を与える恐れがあります。また有毒物質(アルカロイドの一種)を含むために「特定外来生物」に指定されています。

**2/19(土)午前10時から約2時間半**、午後からの雨に降られることもなく、41人(プラス小学生4人)のボランティアの皆さまに集まっていただき、人海戦術(手作業)で、彩都粟生南七丁目の斜面一帯に繁茂しているナルトサワギク**約1,000kg(トラック3台分)**を除去しました。

急斜面の上部では、箕面マウンテンバイク友の会の若いスタッフが活躍してくれた他、箕面の山パトロール隊、箕面観光ボランティアガイド、箕面の森のきこり隊、みのお里ふら、箕面ナチュラルリストクラブ、アメリカオニアザミをなくす会など、多くの団体の皆さまに活動していただきました。



ナルトサワギク



袋詰めにして除去



トラックで搬出



点在するシカの糞

斜面では、ところどころにシカの糞が落ちていました。周りの山から飛んできた種子や鳥により運ばれてきた種子が発芽して、いろいろな植物が発芽するのですが、ところどころに松が生育している他は、あまり見当たりません。

シカが好きな植物は食べられてしまって、ナルトサワギクのようなシカが食べない植物だけが残っています。もともと繁殖力が強いのですが、**シカによる食害の影響**で他の植物との競合が少なくなり、さらに生息域を拡大しています。

## 市民の森「こもれびの森」でヤマザクラやミツマタなど、129本の植樹を行いました。



シカが嫌いなミツマタ50本を植栽



宝くじ事業のヤマザクラ50本を植栽

「こもれびの森」は、「生活環境保全林」に指定されており、森林整備により市民に憩いの場を提供する機能を高めるとともに、土砂災害のリスクを低減する機能の向上が求められています。

公益財団法人日本さくらの会「宝くじ桜」事業でヤマザクラ50本の寄贈を受けて、金柵内に26本、ハイキング道沿いに24本を園芸業者に委託して植栽しました。

金柵外はシカによる食害が激しく、シカが好きな樹木は全て食べられてしまうために、シカが嫌いな樹木であるミツマタを50本を植栽しました。

園芸業者に植栽を委託したヤマザクラとミツマタ計100本の他、3月13日(日)に住友ゴム工業さまから無償で提供を受けたヤマザクラ13本、エノキ10本、タニウツギ・ヤブムラサキ各3本、計29本を植樹しました。ハイキング道沿い(金柵外)のヤマザクラには、防鹿ネットを設置しました。

ミツマタには防鹿ネットを設置せず、しばらく経過観察を行います。もし異常を発見した時は山麓保全委員会事務局にご連絡をお願いします。

植樹した木が大きくなるのは何年も先ですが、数年後に花が咲くのがとても楽しみです。

3月13日の植樹活動には、山麓保全委員会の他、箕面の森のきこり隊15名、箕面の山パトロール隊9名、箕面ナチュラルリストクラブ5名、箕面マウンテンバイク友の会4名、みのお里ぷら4名、箕面生きもの会議3名、音羽山荘2名、箕面市公園緑地室など、計48名のご参加をいただきました。

※植樹とは別に、「こもれびの森」Aネットから雲隣展望台に向かうハイキング道の整備を箕面の山パトロール隊に行っていました。

※住友ゴム工業さまからは、「こもれびの森」の植樹以外にコナラ50本の提供を受けて、里山管理活動を行っている3団体に提供しました。



ヤマザクラに防鹿ネット設置



ヤマザクラの植樹と水やり



防鹿ネット内に植樹



48人の市民が参加

園芸業者に植栽を委託する費用や防鹿ネットの購入など、植樹を行うためには多くの費用が必要です。今回の「こもれびの森」の植樹活動にかかわる資金は、山麓保全委員会への寄付金50万円、及び夢&環境等支援宮崎記念基金さまからの助成金50万円を活用させていただきました。

植樹に適した季節は3月です。来年もこの時期に植樹を行う予定です。「こもれびの森」が市民に親しまれ、健全な森の機能が活かされた森になるよう、皆さまのご支援をお願いします。

※2020年にはイロハモミジ53本、どんぐりがなる木30本を植樹、2021年はツツジ50本、ヤマザクラ50本、ムラサキシキブ37本、ガマズミ・カマツカ各24本など花の咲く木その他、コナラ60本を植樹しました。

※昨年3月に植樹したヤマザクラ50本は、増えすぎたシカによる食害などで24本が枯れてしまいました。

## 4月29日(祝)みのおキューズモールで「ふれあい広場 みのおの山と遊ぼう！」を開催します。

昨年11月7日、みのおキューズモールで「ふれあい広場 みのおの山と遊ぼう！」を開催し、多くのご家族にご参加をいただき好評だったことから、今年は4月29日(祝)に、さらに規模を拡大して開催することにしました。

ステージでは音楽演奏や森の紙芝居、箕面滝道クイズを行う他、広場では木こり体験や自然素材を使った工作体験の他、山麓保全活動や箕面の自然の紹介などを行います。ぜひ、みのおキューズモールにお立ち寄りください。

山とみどりのフェスティバル「ふれあい広場 みのおの山と遊ぼう！」

☆ 日時:2022年4月29日(祝)午前11時~午後3時30分(予定) ※雨天中止

☆ 場所:みのおキューズモール EASTエリア-1F キューズステージ周辺



写真は昨年の様子です



木こり体験



工作体験



紙芝居

## 4月23日(土) 山林整備ボランティア養成講座を開催します。

山林整備ボランティア養成講座を受けて、箕面の山で楽しく活動しませんか！初めての方でもベテランの山林整備サポーターと一緒に安心して活動していただけます。

### 山林整備サポーター ボランティア養成講座

☆日時: **2022年4月23日(土)** 午前10時30分～午後3時ごろ ☆集合: 箕面市粟生外院5丁目「皿池公園」午前10時15分

☆午前・・・基本的な技術や安全知識を学ぶ講義 午後・・・近くの民有林で、倒木処理や間伐などを体験

※参加費は無料、事前申込が必要(先着10名)

### 《山林整備サポートとは》

山林所有者が高齢だったり、遠隔地に住んでいるなどの理由で山林の手入れが出来ない場合に、山林所有者からの要請を受けて、山の手入れを行うボランティアを山麓保全委員会を通じて派遣する仕組みです。2021年度は、51件の山林所有者から派遣要請を受けて、秋から冬にかけて活動しました。毎年、ボランティア派遣の要請件数が増えています。要請に応えるために、山林整備サポーターとして活躍していただける方を募集しています。



## 4月24日(日) 里山管理ガイドブック作成報告・意見交換会を行います。

2007年に山麓(里山)の樹林管理ガイドラインを作成しましたが、近年、増えすぎたニホンジカによる食害、外来生物による森林生態系の脅威、山林所有者からの山林整備サポート要請の増加、気候変動の影響による自然災害の増加などの要因により、改訂が必要になっています。

山麓保全委員会では、このような環境変化に対応していくために、初めての人でも読みやすく、理解しやすいガイドブック(全26ページ)の改訂版(案)を作成しました。

里山管理ガイドブック改訂版(案)の概要を説明した後に、意見交換を行いますので、ぜひご参加をお願いします。

☆ 日時: **2022年4月24日(日)** 午前10時～12時ごろ ※参加費は無料

☆ 場所: 箕面文化・交流センター(阪急箕面駅前サンプラザ1号館)4階会議室



瀧安寺周辺のコジイ林



大日駐車場周辺のエドヒガン



コバノミツバツツジ



ササユリ

## 5月29日(日) NPO法人みのお山麓保全委員会の定期総会を行います。

第20回になる定期総会を行います。昨年度の事業について報告した後に、本年度の事業計画案を説明します。会員の皆さまからのご質問やご意見をお聞きしますので、ぜひご参加ください。

※正会員以外の方でも傍聴可能です。(事前に事務局にご連絡ください)

☆ 日時: **2022年5月29日(日)** 午前10時～12時(予定)

☆ 場所: 箕面文化・交流センター(阪急箕面駅前サンプラザ1号館)4階会議室

☆ 2021年度の事業報告、2022年度の事業計画と予算、役員の選任など



### NPO法人 みのお山麓保全委員会

〒562-0001 箕面市箕面6-3-1 みのおサンプラザ1号館2階211号室

電話&FAX: 072-724-3615 携帯電話: 090-1133-3615

メール: yama-nami@yama-nami.net

ホームページ: www.yama-nami.net(検索: 山なみネット)

\* 箕面の山麓保全情報のポータルサイト「みのお山なみネット」

